

平成20年度食育推進研究地域の取組

研究主題

学校・家庭・地域が一体となった児童生徒の望ましい食習慣の育成を目指して

鳩ヶ谷市教育委員会

I 鳩ヶ谷市の概要

1 鳩ヶ谷市の概要

鳩ヶ谷市は、埼玉県の南部に位置し、川口市と東京都に囲まれた、市域が6.2平方キロメートルの蕨市に次ぐ日本で2番目に小さな市であり、現在は6万人を超える人口である。

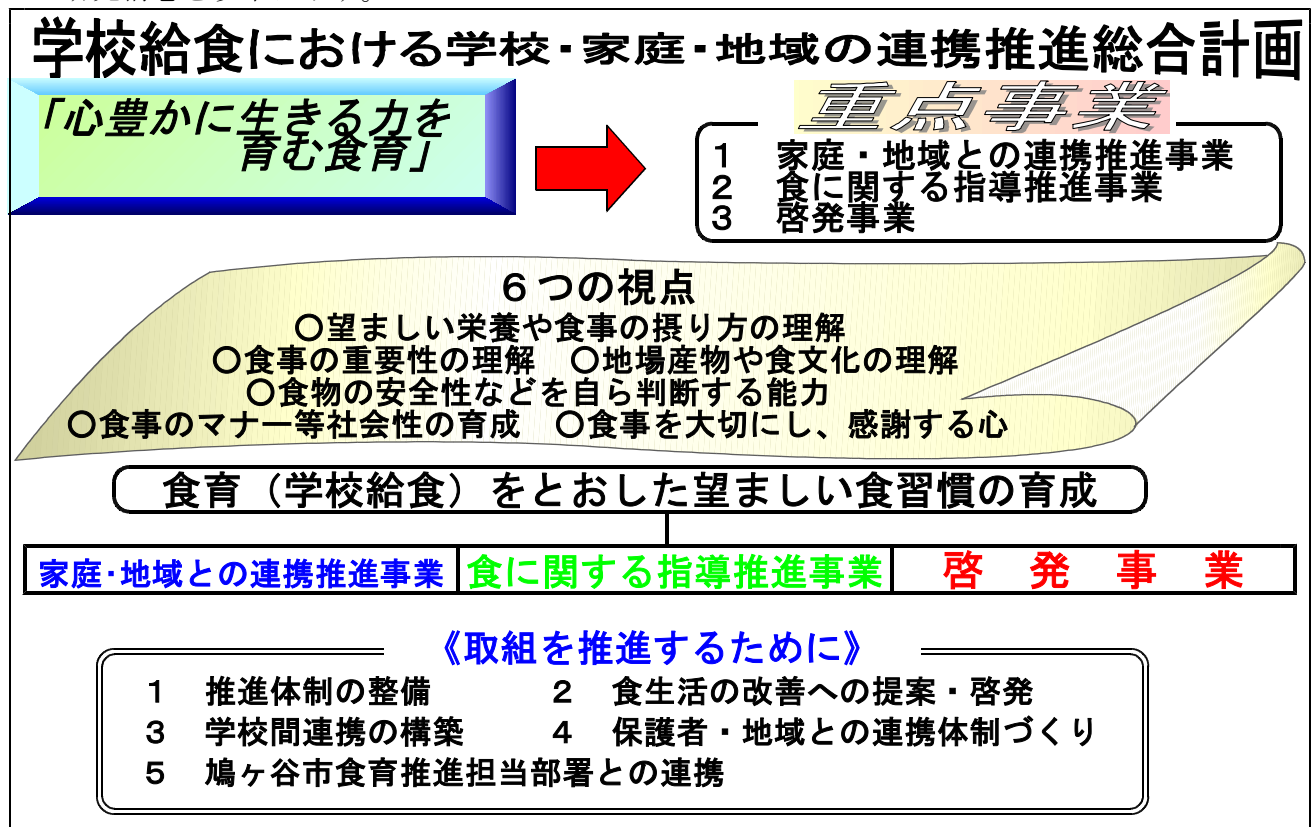
2 学校規模等 (平成21年5月現在)

○学校数	小学校	6校	中学校	3校
○児童生徒数	小学校	3,214名	中学校	1,355名
○教職員数	小学校	155名	中学校	80名

II 研究の概要

1 研究の構想

研究構想を以下に示す。



2 推進組織

「鳩ヶ谷市食育推進委員会」が市の食育を推進している。所属は、市内小・中学校、市PTA連合会、JA川口、学校教育課、生涯学習課、産業振興課、市保健センターが所属している。

III 実践事例

1 家庭・地域との連携事業

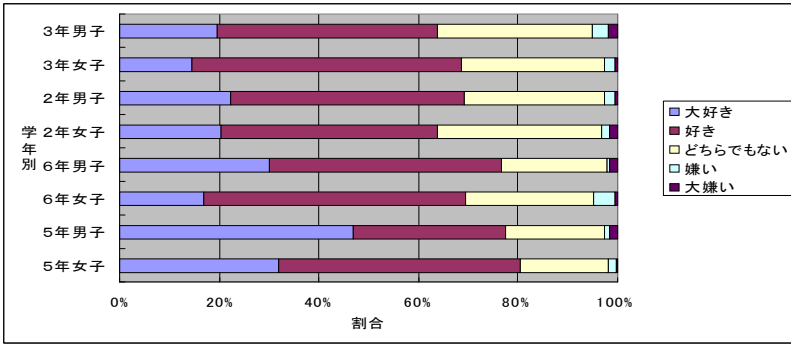
学校関係以外の諸団体等が市内児童生徒に対して食育に関する取組を行う実践である。

- 安全・安心な学校給食の推進として(生産農家との連携をとおした地産地消の取組)
- 家庭や地域の食生活の改善として
 - ・食に関する調査研究
 - ・給食試食会や学校保健委員会等、PTA活動としての取組

市内農家の生産物を給食献立へ
児童生徒が農家の畑で栽培活動

「食育に関する実態調査」調査結果（児童生徒・保護者・教員に実施）

問1 あなたは、給食が好きですか、きらいですか。



*平成19年度は、児童生徒18問、保護者15問、教員5問を設定し、平成20年度は、その中から取組に関係したものについて調査を実施した。

ポスターコンクールを生かした食育カレンダー



2 食に関する指導推進事業

食育の推進を図るため、辻小学校を中心に全体計画、年間指導計画の作成・実践、授業研究や食に関する学校行事等の充実を図っている。

- 食育に関する年間の学習計画の見直し
- 授業研究（各教科、領域等）
- 学校行事（交流給食、給食週間の取組等）の取組
- 栄養教諭、学校栄養士と先生による授業

3 啓発事業

本市の児童生徒はもちろん、児童生徒の保護者、地域及び市民への啓発を図り、食育に関する意識の向上を図っている。

- 食育推進に関する情報発信
 - ・ 学校だより、給食だより、PTA広報誌等

食育推進だより

- ・ 食に関する講演会（教員、保護者、地域対象）
- ・ 食育に関するポスターコンクール、カレンダー等の作成、掲示
- 食育推進に関する体験活動
 - ・ 料理教室（朝食、親子、夏季休業中等）

IV 研究の成果と今後の課題

市内すべての小中学校が取り組むことで、各校の教員はもちろん、児童生徒、保護者、地域の方々の食育に関する意識の向上が図れた。

今後の課題は、各教科等の特質をふまえた食育指導のあり方と、家庭、地域との連携を深め、「教育に関する3つの達成目標」（規律ある態度）と関連させた実践をしていく必要がある。

これらの課題を解決し、市内小・中学校の児童生徒に食事のマナーや食事の取り方、感謝する心など、望ましい食習慣が身につくよう、研究の充実を図っていく。